

今年

百六十七人が成人の仲間入り

一月十五日、町民会館で新成人百六十七人の門出を祝い成人祝賀会が行なわれました。成人者は「順境と逆境は常に裏合わせです。厳しい局面に立たされたときは絶対に背を向けることなく、不屈の精神で敢然と挑戦する気概が肝要です。みなさんの洋々たる前途を祝福するとともに大いなる活躍を期待します。」と齊藤町長からの激励や、来賓の方がたからお祝いのご言葉を受けました。

成人者を代表して、大木文男さん(二又)、鈴木明子さん(宝

米)、越川直樹さん(小田部)、深田礼子さん(芝崎)、椎名千早さん(橋場)、宮園あや子さん(横芝町)、櫻井謙一さん(長塚)、大草由美子さん(尾垂)、浅野美智代さん(木戸)が二十歳の決意を發表し、最後に伊藤敬一さんが成人者を代表して「社会人としての自覚を胸に、いっしょうけんめい頑張ります。」と謝辞を述べました。



椎名 千早さん

二十歳の決意

私は二十歳になったといっても、ただいま学生ですから、社会人としての感覚が薄く、胸に刻む決意というほどのものはありません。しかし、子供の頃から二十歳になる自分にあこがれつつ成長してまいりました。二十歳になれば民法上、成人になったわけですから、自らの行動に自覚を持たなければならな

いとは肝に銘じます。

去年の三月から下宿による自炊生活をはじめ、親の有り難みもよくわかり、アルバイトの努力による収入は身にしてみてもうれしく、働きながら勉強する楽しみのなかに、自分の精神も鍛え上げられ形而上下に成長してゆくものと思いいつ努力を続けてゆきます。



深田 礼子さん

二十歳になって

まだまだ先の事だと思っていた成人の日を迎える事になりました。二十歳になると一人前の人間として扱われます。一人前という事は、精神的、経済的に自立ができるという事ではないかと私は考えています。まだ学生である私は親のすねをかじり、経済的な援助を受けて学んでいる身であり、一人前とは程遠い状態です。精神的にもまだまだ未熟で、親に甘え、社会に甘えている私です。

学・社会科学等できるだけ多くの書物にふれ、知識を広めたいと思います。また、人生経験豊かな先輩達との出会いを大切に、いろいろな事を学び、少しずつでも成長していきたい。これからの長い人生、目標を持って生きていく事も大切だと思います。現在まで、恵まれた環境に育った私ですが、これから先、どんな試練が待ち受けているかもしれません。どんなに苦しい時でも、それを乗り越えて目標に向かって歩む努力をしたいと思えます。最後にになりましたが、これまで育ててくださった両親や周囲の方々に、心から感謝いたします。

婦人の社会参加をと 第1回婦人フォーラム



十二月二十日、町民会館で町内の婦人三百人が集まり、フォーラムが開かれました。この婦人フォーラムは、行政の場などへの社会参加をすることの少ない婦人に、積極的な社会参加をしてもらうと行なわれたものです。

政と婦人参加、婦人に期待するもの」と題した基調講演や、パネルディスカッションが行なわれ、「家庭内での親と子のあり方」、「スポーツ施設等の設置要望」などさまざまな問題の提起がされました。昼食時のワインパーティーで楽しいひとときを過ごした後、吹奏楽や落語などのアトラクションがあり閉会となりました。このフォーラムは大変好評で「これからもずっと続けてほしい」と大勢の要望がありました。

表の行方百合江さんに町長から記念品が贈られました